

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 86 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ：<http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2009年12月5日(土)
発行者：浮田 徹也



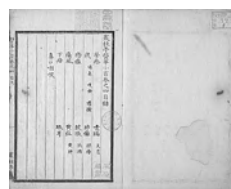
漢方薬のよさ(86) 赤ちゃんと漢方

もうすぐ二〇一〇年になります。来年に残すべきでないものを残していませんか？努力して清算しましょう。今年は、世界的な不況と経済的苦境の影響で、異常気象や自然災害により、実際に被害を被った国（フィリピン、インドネシア、タイなど）以外での「気候変動と環境問題に対する認識」が低下していると報告されています。また、国内では、「米の安保協力」、「暫定税率」、「事業仕分け」などの問題が山積みで、各方面で大きな変化が生じようとしています。特に、漢方薬が医療から消滅しそうになりましたが、皆さまの熱意で多数の署名を厚生労働省に提出でき、「漢方薬が医療に不可欠な薬剤」と言うことが政府に伝わったものと思います。署名ありがとうございました。また、三十二mm プロセスCPUの登場が噂され、



夕日（敦賀市 福井県）

ますますインターネットが便利になっていきそうです。なんとと言っても、皆様方の関心事は、インフルエンザ予防接種だと思っています。季節型インフルエンザ予防接種はもう済ませましたか？当院には在庫がありますので実施可能です。新型インフルエンザ予防接種に関



しては、政府の指示に従って実施しています。ご希望の方は申込み下さい。

赤ちゃんと漢方のお話です。赤ちゃんの症状はそれほど多彩ではありません。湿疹（紅斑）、黄疸（高ビリルビン血症）、哺乳力低下、便秘、下痢、鼻閉、鼻水、感冒、痔瘻（肛門周囲膿瘍）、夜泣き・・・などに対応することが出来ます。体温測定、顔色、便や尿の状態、機嫌、食欲、睡眠、鼻水、咳などの状況を知ることが大切です。大人と同じく、四診（問診、視診、聞診、切診）をして処方を決定します。漢方薬の治療では、赤ちゃん特有の症状や処方を入れて処方を考えます。漢方薬のみに拘らず、西洋薬と併用することも有意義なことがあります。エキス剤（粉）も手軽でよいのですが、湯液（煎じ薬）の方が味の調節もしやすく飲みやすそうです。

実際に移ります。

女児、生後二日、正常分娩、哺乳良好、紅斑（首と顔）、黄疸（一）。そこで、首と顔の消毒をして十味敗毒湯を処方。一日半で消失。





男児、生後四日、正常分娩、哺乳良好、黄疸（高ビリルビン血症）。光線療法で血中ビリルビン値低下するが、中止すれば再上昇。生後八日目、茵陳五苓散を併用。生後一〇日目より正常化。

男児、生後十五日、正常分娩、哺乳良好、鼻閉（発熱（一））。そこで、麻黄湯を処方。夕方より鼻閉改善。

三十二歳男性、眼精疲労、頭痛、食欲不振、肩こり、便秘（四日に一回）。仕事でパソコンを一日中使用。顔色良好、脈浮滑数、舌淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈怒脹。上下腹部の弾力性中程度、胸脇苦満（土）、胃内停水（一）、臍上下悸（十）。そこで、補中益気湯十五苓散と葛根湯十川芎茶調散処方。二ヶ月後、症状消失。六ヶ月間服用後廃薬。

四十九歳女性、過敏性大腸、下痢、腹満（ガス貯留）、食欲不振、背中の痛み。顔色は青白く、腹部は軟らかく、心下痞硬、臍下不仁、脈は細、沈、遅、舌は、淡紅色、薄湿白苔。毎食後下痢。外出中も絶えずトイレを探す習慣。そこで、半夏瀉心湯十甘草湯十修治附子末

を処方。3ヶ月後下痢傾向減少。一年後時々下痢。五年後の現在も服用中。

五十八歳女性、肩こり、一五六cm、五七kg、便秘（三日に一回）、食欲良好。顔色良好、腹は力がある、右胸脇苦満、心下痞硬、両側臍傍抵抗圧痛、脈は浮弦数実。舌は淡紅色、乾白黄苔。そこで、スーパライザーを指示、一週間続け症状軽減、一週間後鍼（効果（十））、二週間後、葛根湯十蒼朮十牡丹皮十桃仁十修治附子末を処方。半年後廃薬。

インフルエンザA型 一〇歳女児、発熱（三十九・五℃）、鼻閉、咳、食欲低下。顔は紅潮、腹は軟、右胸脇苦満、脈は浮緊弦数。舌は淡紅色、乾白苔。そこで、麻黄湯十越婢加朮湯十小柴胡湯（各一・五包）（分三）二日分処方。三日後解熱。

次回は、漢方の流派Ⅳです。

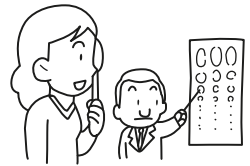


〔院長〕



眼 精 疲 勞

眼の疲労、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状を自覚します。眼科疾患（緑内障、角膜炎、結膜炎、遠視、乱視、老眼、シェーグレン症候群）、副鼻腔炎、更年期障害、うつ病などを見逃さないことが大切で、気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効です。



過 敏 性 大 腸

漢方医学では、「心」と「小腸」は表裏の関係にあり、「こころ」の苦痛が「腸」に表れます。「下痢タイプ」「便秘タイプ」「下痢便秘交替タイプ」があり、感情（怒り）、緊張（ストレス）、冷え、水毒（むくみ）を調整する漢方薬をお試ください。また、規則正しい生活スタイルを取り戻すように工夫（努力）してください。



肩 こ り

本態性（原因不明）と症候性（整形外科、内科、眼科、耳鼻科、脳神経外科、婦人科、歯科）と心因性（欲求不満、心理的葛藤）があります。冷えや血液循環障害、胃腸の不調、むくみなどの体質、湿気や寒さなどの環境を参考に診察（腹診、脈診、舌診）をして漢方薬を決定します。また、鍼やスーパライザー（近赤外線）なども利用します。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。
当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかりと蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 中程度の病氣：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

アトピー軟膏 健康食品(グルコサミン、コンドロイチン)

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏 ・ アガリクス・メシマコブ
- ・靈芝 ・ AHC C ・ サメ軟骨 ・ 快歩楽

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。
往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

外来休診日のお知らせ

外来診察は、12月31日(水)～1月4日(日)の間、お休みします。お産や急患はこのかぎりではありません。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成22年1月9日、2月6日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時: 平成21年12月16日(水)、26日(土)
平成22年1月13日(水)、23日(土)

対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



原 南 陽

父は水戸侯の侍医。京都で山脇東門や賀川玄悦に師事した。その後、江戸で開業したが、貧乏暮らしで、按摩鍼灸によって辛じて生活を立てた。水戸侯の急病に際し、劇薬走馬湯で病気を治し侍医として抱えられ五百石を与えられた。南陽の著書には『叢桂亭医事小言』『叢桂偶記』『寄奇方記』『蓍草』『経穴彙解』などがある。古方を尊重し、生薬数の少ない処方推奨、限られた処方を巧みに使用した。、和田東郭の医学思想に通ずるものがある。乙字湯は南陽の処方である。



分娩予約

妊娠20週までにに受付で予約して下さい。ご予約には、分娩予約カードが必要です。予約された方には、母と子のてびき、入院誓約書、直接支払い制度合意書をお渡しします。

インフルエンザワクチン接種(季節型、新型)

季節型インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチンの接種を実施しています。詳しいことは受付でお尋ねください

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページで確かめください。(電話予約可)

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

お屠蘇

延寿屠蘇散と言い、中国の華佗が邪気を屠(ほろ)す、魂を蘇(さ)らせるようにと処方。日本に平安時代に伝来。宮中行事から民間に広がり、江戸時代に曲直瀬玄朔の工夫で完成しました(無料)。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院でお産される方に、10月より登録証を発行する予定です。(妊娠5ヶ月ころ)。詳細は受付でお聞きください。